

■第5回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
1	いいつか せつこ 飯塚 節子	簸川郡 斐川町	夫・強氏と二人三脚でそば店を経営するかたわら、平成20年には町内で初となる「しまね田舎ツーリズム」の農村民泊施設を立ち上げ。「出雲・宍道湖ツーリズムの会」(会長:藤岡大拙氏)では、夫婦ともに中核として活躍しており、宍道湖西岸の地域資源を生かした体験交流活動を積極的に展開している。 各種イベントの開催においては、企画から接客までを中心となつてこなし、明るく快活な人柄は、多くのリピーターを生む原動力となっている。	「出雲・宍道湖ツーリズムの会」では、稲刈り後の田んぼにオリジナルTシャツを飾る「湖西美術館Tシャツアート展」や、地域食材と出雲神話をコラボレーションさせた「夜嘶(よばなし)の集い」等の独創的なイベントを中心となつて企画・運営し、好評を博している。 また、貴重な地域資源である野鳥の飛来時には、多くのバードウォッチャーが地域を訪れるが、そうした人々のために無料の休憩施設を設置したり、野鳥の情報を提供するなどして、地域のPRに奔走している。	斐川町 企画財政課
	いいつか つよし 飯塚 強		建設業から転職し、妻・節子氏とともにそば店を経営。夫婦で力を合わせて運営する農村民泊施設では、そば打ちの技術を生かした、そば打ち体験等の指導者として人気がある。朗らかで温厚な人柄の反面、地域に対する思いは人一倍強く、所属する「出雲・宍道湖ツーリズムの会」では、節子氏とともに中心となつて活躍。各種イベントの開催等により、地域資源を活用した交流人口の拡大に熱心に取り組んでいる。		
2	ゆあさ アヤノ 湯浅	益田市	夫・五郎氏とともに、「豊川地区子ども見守り隊」の隊員として、毎日欠かさず、見守り活動(地域の子どもたちが登下校する際の付き添い)に参加するとともに、高齢者や障がい者等を対象とした、ボランティアによる配食活動(まごころ弁当サービス)にも、献立作成や調理を通じ、熱心に取り組んでいる。 また、子どもたちを対象に毎年実施している「しめ飾りづくり体験交流活動」では、中心的な存在として、材料の調達から作成指導までこなすなど、地域文化の伝承にも貢献している。	見守り活動の際、夫婦揃ってパトロールカーに乗車している姿は、仲よし夫婦として非常にほほえましく映る。互いを尊重し、協力し合いながら、熱心に地域活動に取り組んでいるご夫婦である。	豊川地区振興 センター長
	ゆあさ ごろう 湯浅 五郎		豊川地区の社会貢献活動の中心となっている「豊川地区福祉ボランティア連絡協議会」の会長や、「豊川地区子ども見守り隊」の代表などを務め、地域のボランティア活動、福祉活動を牽引する存在。 特に「豊川地区福祉ボランティア連絡協議会」は29年に及ぶ活動実績を持ち、高齢者や身体障がい者等への配食活動に当たっては、小学生を同伴することで、小学生には思いやりの心を培ってもらうとともに、高齢者や身体障がい者等には、小学生の書いた手紙等を贈ることで元気付けるなど、妻とともにボランティアの輪、福祉の輪を地域全体に広げていく活動を行っている。		
3	はせがわ きみこ 長谷川 公子	仁多郡 奥出雲町	保育士として阿井保育所に勤務していた時代から、明るく、はつらつとした温かい人柄で慕われてきた。 退職後は、児童館勤務のかたわら、学校と連携しながら、地域の子どもたちの命を守り、健全に育成するための活動に尽力している。 また、町の食生活改善推進委員として、食育活動を行うとともに、週1回、セラバンド体操(ゴムバンドを使った体操)の指導も行うなど、子どもだけでなく、町民全員の健康増進に貢献している。 交通安全協会や体育協会の役員、生活保険推進委員などの役職もこなす。	夫婦ともに明るく、温かい人柄で、周りから慕われているすばらしいご夫婦である。絶えず地域と深く関わり、地域づくりに尽力されており、地域になくはない存在となっている。 夫婦とも多忙ではあるが、家事を分担するなどし、互いを支え合い、思いやり、理解しながら、ともに実りある人生を歩んでいる姿は、まさに「ナイスパートナー」。 今後は、自宅に私設図書館をオープンし、地域に開放したいとの夢も持っておられるなど、常に地域の人々のことを考え、尽くしている。	奥出雲町長
	はせがわ あきら 長谷川 昭		中学生へのバレーボール指導や小学生を対象とした「ふるさと学習」の講師を務めるとともに、阿井小学校のPTA会長時代には、「みんなで創る学校給食」活動を中心となつて展開し、同校の文部大臣表彰の受賞に寄与するなど、地域の子どもたちの教育に積極的に参加・貢献している。 また、「農事組合法人ほり」の事務局長として、仁多米生産の振興や、中山間地域における営農・集落活動の促進にも中心となつて取り組んでいる。		

■第5回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
4	ふくま まさこ 福間 昌子	松江市	夫・隆氏の旅館経営を支えるとともに、地域では地区商工会婦人部の代表を務めるなど、地元女性のリーダーとしても活躍している。 特に、平成20年5月からは、地元の女性有志「つわぶきの会」により、地元の空き古民家を活用した「関のお惣菜屋さん事業」(休憩所(入来舎(はいらいや))運営事業)を実施。住民と観光客に憩いの場を提供するとともに、近接する寺院のボランティアガイドも行うなど、地域に密着した活動を展開している。	元来世話好きで、地元美保関をこよなく愛する二人は、家業の旅館業と遊覧渡船業により、観光を通じた地域振興に貢献してきた。二人が所属する「美保関地区活性化協議会」では、若手の旗頭として、住民の意見を聞き取り、「総菜屋事業」「伝統踊りホーライエッチャの復活事業」「古民家活用の宿泊体験施設事業」等、様々な取組みを実施し、現在に至る。また、「ふびす様は鳴り物好き」の言い伝えにちなみ、平成19年に「ふびす音曲祭」を実施。本年度は「歌語り 小椋佳」「地域伝統芸能祭」の事務方を夫婦二人三脚でこなし好評を博した。	松江市美保関支所長
	ふくま たかし 福間 隆		旅館のオーナーとして、旅館経営・遊覧渡船業に携わり、地域経済を牽引するかわら、美保神社を中心として続く、地域特有の歴史学・民俗学研究者の調査にも積極的にに関わり、地元で伝わる郷土民謡・地元伝統文化の保存・継承・普及に努めている。 平成20年6月に設立され、官民一体となって地域づくりを行う団体「美保関地区活性化協議会」では、事務局次長を務め、国の補助事業を積極的に活用、成果を上げるなど美保関の地域振興に貢献している。		
5	たにと ひとこ 谷戸 仁子	雲南市	地域自主組織(住民自らが参画し、互いに協力していくための組織)「躍動と安らぎの里づくり鍋山」の参与を務め、地域づくりのコーディネーターとして活躍。地域における男女共同参画の推進役として、地域での取組について、女性の立場からアドバイスできる存在である。 夫・邦夫氏の後任で「鍋山地区福祉委員会」(地域住民で構成し、同地区での福祉活動を展開する団体)の委員長としても活躍し、子育て世帯同士の意見交換等を行う「子育てサロン」の開催、独居老人世帯への配食サービスの実施など、温かな福祉活動を展開した。	妻・仁子氏の教員経験と、夫・邦夫氏の行政経験、さらには、双方の幅広い人脈を生かし、人一倍の熱意を持って地域づくりに取り組むとともに、夫婦が互いの立場を尊重した活動を行っている。 夫婦そろって国道沿いの花壇を整備したり、地域の文化祭へ木彫・絵画作品を出品するなど、様々な場面で夫婦仲良く活動されている姿は、地域の範となる「ナイスパートナー」である。	躍動と安らぎの里づくり鍋山会長
	たにと くにお 谷戸 邦夫		地域自主組織「躍動と安らぎの里づくり鍋山」の役員、支部長として、設立当時から地域づくり・人づくりの中心的存在として活躍。同地区の福祉委員長としても、地域福祉の基礎(常勤の福祉推進員の配置など)を築くなどした。 また、平成22年度からは、市内で一斉に交流センター(住民活動等の拠点施設)が開設される予定であるが、開設に向けては、高齢化した地域の実情に配慮し、自治会同士の統合を提案するなど、新しい地域運営の仕組みの考案者でもある。		
6	あらか えいこ 荒木 栄子	松江市	郷土芸能家として活躍する夫・八洲雄氏のマネージャーとして、安来節をはじめとした郷土芸能の普及・伝承に二人三脚で尽力。機材や衣装の準備・片付けはもとより、送迎、打合せなどを一手にこなすとともに、芸能指導の際には自ら銭太鼓の指導を行うこともある。 また、夫と協力し、外国人や地域の学校、福祉施設を対象としたボランティア活動にも熱心に取り組んでいる。	自他ともに認めるおしどり夫婦で、その仲の良さは他人がうらやましいと感じるほど。互いに認め合い、協力し合いながら、いつも周囲を楽しませている夫婦であり、ともに生涯現役で郷土芸能を牽引する存在である。	松江市ボランティアセンター所長
	あらか やすお 荒木 八洲雄		幼少より民謡を愛し、“心のふるさと”として活動する、生涯現役の郷土芸能家。特に最も愛着を持つ安来節の演唱は30代から続けており、卓越した技術と、独特の人間味・味わいで、地域の人々に元気を与える存在。ボランティアによる福祉活動にも熱心に取り組んでおり、子どもからお年寄りまで幅広く指導。海外都市との友好活動にも積極的に協力し、安来節の英語版替歌を作成、どじょう掬いを「フィッシングダンス」として紹介するなど、郷土芸能の伝道師として、妻とともに地域のPRに尽力している。		

■第5回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
7	ほんだう みよこ 本藤 三世子	江津市	<p>市民劇団「アクアス姫」の代表として、男女共同参画をモチーフにした寸劇や、紙芝居の公演を江津市内外で行い、好評を博しているなど、男女共同参画の推進に向けた実践活動を積極的に行っている。</p> <p>また、地元の「敬川子ども会」のメンバーとしても活躍中で、小学生を対象に、地域資源を生かした体験活動(川遊び、ホテル鑑賞、餅つき等)を企画・実施するとともに、地元の児童クラブの運営委員会委員として、地域の子育て支援にも熱心に取り組んでいる。</p> <p>「江津市男女共同参画のまちづくり実行委員会」の会長も務める。</p>	<p>夫婦ともに、男女共同参画の地域づくりや、人権尊重の地域づくりに貢献し、江津市内外で啓発活動に尽力されている。</p> <p>地元の敬川地域では、地域資源を生かした子育て支援事業や公民館活動等に参加するなど、地域づくりに熱心に取り組んでおられるご夫婦である。</p>	江津市長
	ほんだう しげお 本藤 繁夫		<p>法務省人権擁護委員、島根行政相談委員協議会会長などを務め、男女共同参画の地域づくり、人権が尊重される地域づくりに取り組んでいる。</p> <p>地域においては、公民館推進委員会の委員長として活躍しており、夏祭り・文化祭・運動会等の地域行事の運営に積極的に取り組むなど、広く公民館行事に力を注いでいる。</p> <p>また、敬川護岸の桜並木を育成する活動にも携わるなど、熱心に地域活動を行っている。</p>		